

## 指導方針（令和7年度）

私たちは、これからの一年間、とても長い時間を共有します。

この大切な時を「子供も、大人も」「野球が上手でも、あまり上手でなくても」、みんなが楽しめる有意義なものにしたい。

そのために「褒めること。思いやること。感謝すること。」を大切にして、指導していきたいと思います。

### ① 良いところや、頑張っているところを見つけて、褒めること

一生懸命に走ったり、ボールを追っかけたり、バットがボールに当たらなくても、おもいきりスイングしていたり、大きな声で応援していたり、道具の片付けがよくできたり、誰にでも、必ず良いところや、頑張っているところがあります。そんな時に褒めてあげましょう。褒められた方も、褒めた方も気持ち良くなります。褒められた方は、次へのチャレンジにもつながります。**“頑張ったら褒める”**お互いにいい声かけができるチームにしたいと思います。

### ② 人を思いやること

例えば、キャッチボールをする時に、相手のことを考えて、取りやすいところへ投げる。こと。野球もうまくなるし、信頼感も生まれて、チームワークも良くなると思います。私たち大人も、メールなどで意見交換する時などは、気をつけたいですね。**“人を思いやること”**の大切さを一緒に学んでいきたいと思います。

### ③ 感謝すること

今こうして、野球ができるのは、朝早く起きて弁当をつくってくれる人、洗濯をしてくれる人、審判をしてくれる人など、誰かが支えてくれているからです。私たち大人も、子供に野球を通じて、悔しがったり、ハラハラしたり、泣いたり、怒ったり、かけがえのない思い出と新たな仲間をつくることができます。**“感謝すること”**の大切さを一緒に学んでいきたいと思います。

お互いに褒め合い、思いやり、感謝の気持ちを持てば、人との接し方や礼に対する私たちの姿勢が変わり、自然と**“挨拶”**もできるようになると思います。

ベアーズのスローガンは、**“親子でキャッチボール”**です。野球を楽しむ。悩んだ時は、この原点に立ち返って、考えてみましょう。

いごごちのよい、楽しいベアーズを皆さんと共に作っていききたいと思います。